

## 第21回男子アジア選手権

開催日	2024年1月21日	会場	HALIFA SPORTS CITY HALL		
試合	メインラウンド				
チーム名	スコア				チーム名
日 本	28	12	前半	16	28
		16	後半	12	
カタール					

No.	名前	得点	戦況
7	蔦谷 大雅	2	<p>日本はプレーメーカーに東江、北詰と徳田がバックコート、サイドに高野と蔦谷、ポストに田代の布陣。</p> <p>守備はGKに坂井、3枚目DFに玉川と田代、2枚目DFに徳田と高野、1枚目DFに蔦谷と北詰を配置した「6-0DF」でゲームスタート。</p> <p>パリオリンピックに向けても選手層の拡大を狙う日本は、これまで出場機会に恵まれなかった選手を中心にメンバーを構成する。試合開始、日本は立て続けにミスが発生させてしまい2連続失点のスタート。しかし、速攻から北詰、玉川が決めてすぐに追い付く。カタールも世界選手権2021の得点王、10 MARZO Frankisを中心に攻撃を展開する。東江のディスタンスシュート、田代のポストシュートなどで加点していき、前半18分過ぎからは榎本、富永を投入。前半20分で9対11。渡部のサイドシュート、榎本の速攻、GK坂井のエンペティゴールで3連取。後半25分には12対13。ドイツ・ブンデスリーガで活動するGK 98 Anadin Suljakovic (HSG Wetzlar) の好セーブにより加点できない苦しい時間帯もあり、前半を12対16で終了。</p> <p>後半開始、徳田のランニングシュートが決まり日本が先制。玉川を中心としたディフェンスでGK坂井の好セーブから田代や徳田が速攻で決めるなどシーソーゲームの様相。</p> <p>後半11分過ぎからはGK岡本が今大会初出場。セーブを連発する。オフェンスでは富永のミドルシュート、ブレイクスルー、榎本のブレイクスルーで3連続得点。後半18分には玉川が速攻を決めて23対23の同点。引き離されそうなピンチの場面でも、GK坂井の7MTセーブ、GK岡本のセーブから徳田が速攻を決めるなどして相手に主導権を渡さない戦いが続く。後半25分でも27対27。その後、日本のテクニカルミスが2本続き万事休すと思われたが、27対28、試合時間残り25秒で日本はタイムアウトを請求。コーナースローから蔦谷が吉田にパスを通し、それを吉田が決めて28対28の同点で試合終了。</p> <p>この結果、メインラウンドは2勝1分。カタールと勝ち点は並んだが得失点差によりグループ2位で準決勝に進出。</p>
9	杉岡 尚樹	0	
13	吉田 守一	1	
15	部井久アダム勇樹	0	
17	坂井 幹	1	
19	徳田 新之助	6	
20	渡部 仁	1	
21	岡本 大亮	0	
24	北詰 明未	1	
27	玉川 裕康	2	
33	東江 雄斗	2	
37	泉本 心	1	
40	富永 聖也	4	
41	田代 翔真	3	
43	榎本 悠雅	4	
44	高野 颯太	0	